

近畿中央呼吸器センターに受診されている患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在近畿中央呼吸器センターでは、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ（情報）を利用させていただきます。

研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

肺癌完全切除術が実施された患者の郭清リンパ節個数と術後再発の関連評価に関する単施設後ろ向き観察研究

●研究の目的と意義

わが国における肺癌患者の部位別癌死亡数は第1位であり、その治療の向上が求められています。近年、肺癌治療において免疫療法が注目されています。免疫療法とは、元々人間の体に備わっている免疫の機能を利用して癌細胞を攻撃する比較的新しい治療法です。近年の研究によって、手術や抗癌剤など従来の治療と組み合わせることで治療成績が更に向上することがわかってきています。

肺癌に対する外科手術では、通常癌周囲のリンパ節を切除します(リンパ節郭清)。免疫反応において重要な機能を担っているリンパ節を切除することは、術後の免疫機能低下に関連する可能性が考えられますが、切除されたリンパ節の個数の違いが、どのような影響を術後に及ぼすのかは具体的に明らかになっていません。私達は、肺癌に対して手術を受けられた患者さんの診療情報、切除された癌組織の病理情報を解析することで、切除されたリンパ節の個数と術後再発との関連性を明らかにすることを目的とした研究の実施を計画しています。この関連性の解明によって、リンパ節切除範囲縮小による手術の低侵襲化、術後の免疫機能が保持される可能性による術後再発リスクの抑制が期待できるかもしれません、手術の適用がある肺癌患者さんの診療にとって有用な情報になると考えています。

●対象となる患者様

2017年4月から2022年4月の間、当院で肺癌切除手術を受けられた患者さん。

●使用させていただく診療データ

性別、年齢、喫煙、血液検査結果、Stage、術式、組織型、癌組織の遺伝子変異、術後補助化学療法実施の有無、切除したリンパ節の個数、手術後の診療経過、再発確定日、死亡日などのデータ

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

利用する情報から、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を完全に削除します。情報は研究代表者と特定の共同研究者のみが共有します。また、研究成果は学会・学術雑誌で発表されますが、その際、患者さんを直接特定できる個人情報は一切使用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合は、以下にご連絡ください。なお、その場合においても患者さんが診療上不利益をこうむることは一切ありません。なお、試験終了後のご連絡には申し訳ありませんが対応できません。

●問い合わせ先

国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 呼吸器外科

小島 健介

住所：大阪府堺市北区長曾根町 1180 電話：072-252-3021（代表）